

経営比較分析表（平成29年度決算）

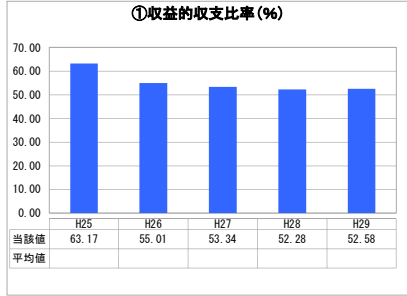
兵庫県 宍粟市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	18.97	76.92	2,698

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,669	658.54	58.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,269	2.62	2,774.43

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



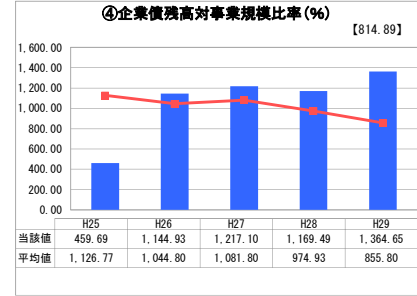
「単年度の収支」



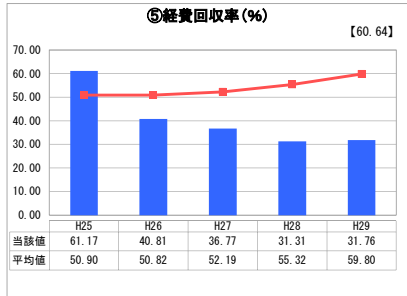
「累積欠損」



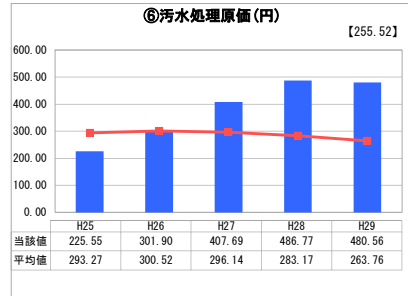
「支払能力」



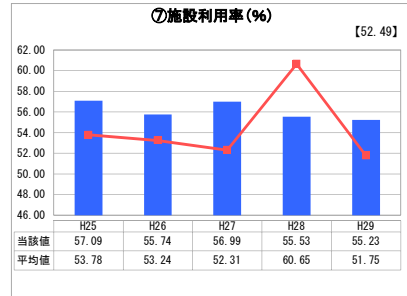
「債務残高」



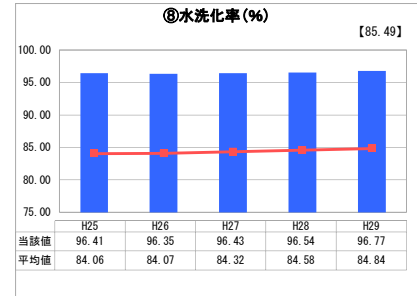
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

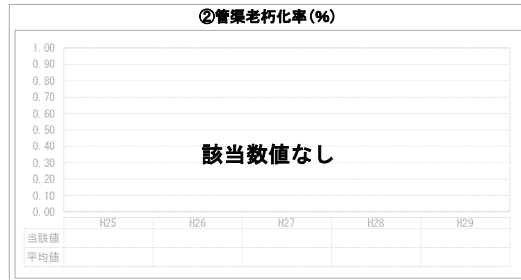


「使用料対象の捕捉」

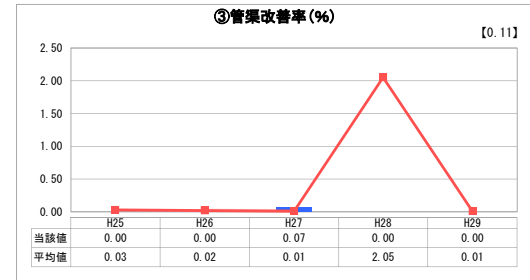
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率については、企業債償還金が増えたが、支払い利息の減少等により前年度比0.3ポイント増となった。

・経費回収率は、類似団体の平均値と比べて低く、収入の不足分については、他会計からの繰入金で随っている状況であり、分析を踏まえて、今後、使用料体系、運営体制のあり方や投資のあり方を見直し、健全運営につなげる必要がある。

・企業債残高対事業規模比率については、類似団体の平均値と比べて高い傾向となっている。これは、資金不足に対する資金調達として資本平準化債を発行していることから企業債残高が多くなっていると考える。

・汚水処理原価については、平成25年度以降、上昇傾向となっており、施設の統廃合や長寿命化により、汚水の維持管理費の縮減に努める必要がある。

・水洗化率はここ数年横ばい傾向である。使用料収入を向上させるため、より一層、水洗化へのPRが必要である。

2. 老朽化の状況について

・供用開始後20年以上が経過している施設があり、処理施設及びマンホールポンプ等の施設の老朽化が進んでいるため、修繕料が年々増加傾向にある。

全体総括

経費回収率は、類似団体の平均値と比べて低く、他会計からの繰入金への依存を抑制するため、健全な経営化に向けて、経営体制のあり方や施設の統廃合を含めた今後の投資のあり方、適切な使用料体系、汚水処理費の削減、水洗化率の向上等の見直しが必要である。また、平成32年度から地方公営企業の財務規定適用により、財務状況及び経営状況の透明化・明確化を図り、計画的で合理的な事業運営を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。